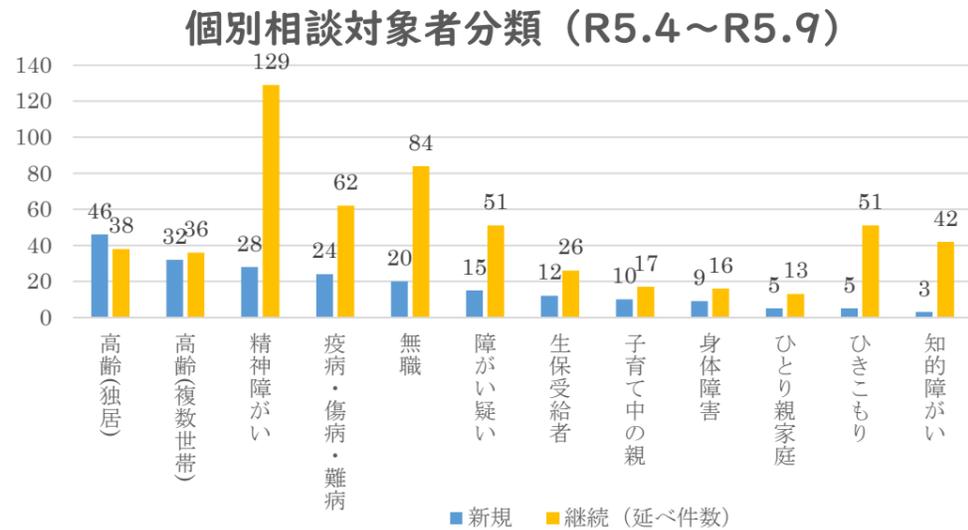


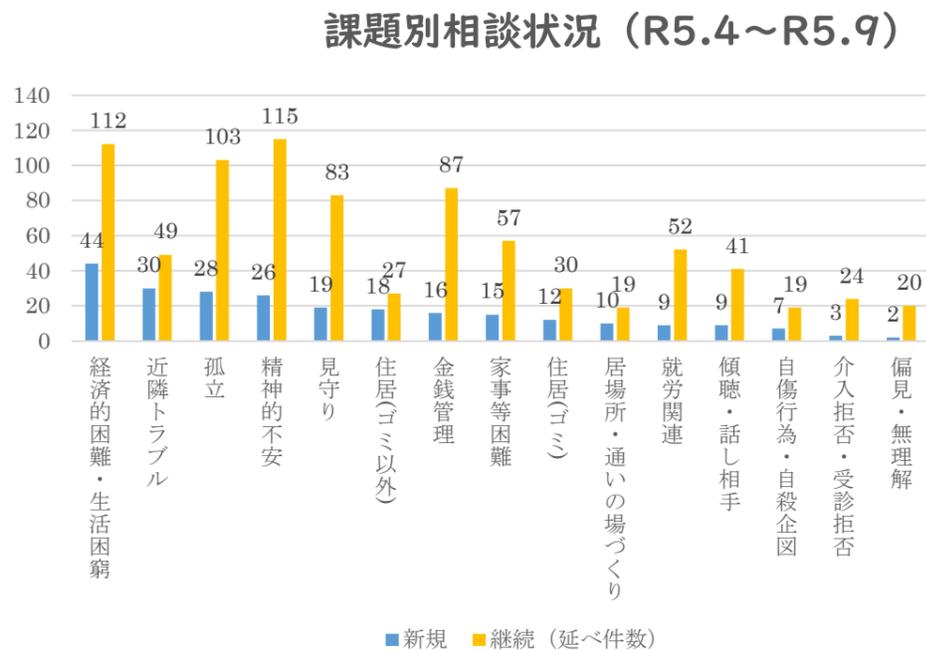
令和5年度(4~9月) 個別支援の状況

新規相談は、高齢(独居・複数世帯)が多く、継続相談は精神障がいが多い。次いで無職、疾病等、障がい疑い、ひきこもりとなっている。

継続相談が多い項目は、支援が長期化する傾向が見られる。



新規相談は、経済的困難・生活困窮が多く、継続相談は、精神的不安が多い。次いで経済的困難・生活困窮、孤立、金銭管理となっている。継続相談が多い項目は、精神的不安を抱え、且つ経済的困難・生活困窮していることが分かる。



個別支援から抽出された課題に対し、地域のつながりで解決できる仕組みづくり

- ・社会とのつながりの希薄化
⇒誰もが気軽に立ち寄れる居場所
- ・ひきこもりへの未然の予防、正しい理解
⇒子どものころからの関係づくり、居場所の確保
- ・当事者の家族支援について
⇒当事者及び家族が集える場づくり
- ・当事者の強みに着目した活躍機会の確保
⇒「支え手」「受け手」という関係を超えて活躍できる場づくり
- ・制度やサービスの狭間となる方への支援
⇒領域や分野を超えたつながりを作る

地域で支える仕組みづくりを、皆さんと一緒に考えます。



<お問合せ>
社会福祉法人
相模原市社会福祉協議会
福祉推進課 地域支援係
TEL042-704-6275

こんにちは!



人と人をつなげるお手伝い
=「お結(むす)び」をします。

Cコミュニティ Sソーシャル Wワーカーです。

「地域の方々との福祉コミュニティづくりを推進します」

~CSW(コミュニティソーシャルワーカー)の取組~

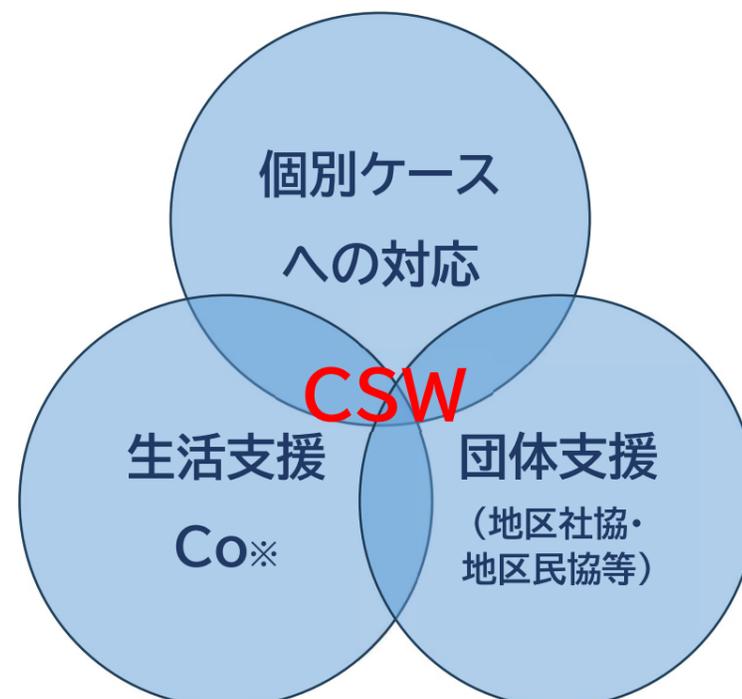
▶市社協が市内22地区に配置するCSW(地区担当者)

地域の支えあい活動や、相談支援をより効果的に進めるための地区担当者として市内22地区に配置され、既存の制度だけでは対応困難な個別ニーズの把握と相談支援としての「個別支援」と、また、地域の支えあい活動の推進、専門機関等との連携体制の構築等「地域支援」を統合的に取組みます。

取組を通じて蓄積された支援方策をもとに、新たなサービスの提案や仕組みづくりをおこなっています。

また、既存の制度や公的な福祉サービスの狭間となっている問題への対応については、地域住民や行政等と連携を図り、施策の検討を進めます。

<CSW・地区担当者の役割と機能のイメージ>

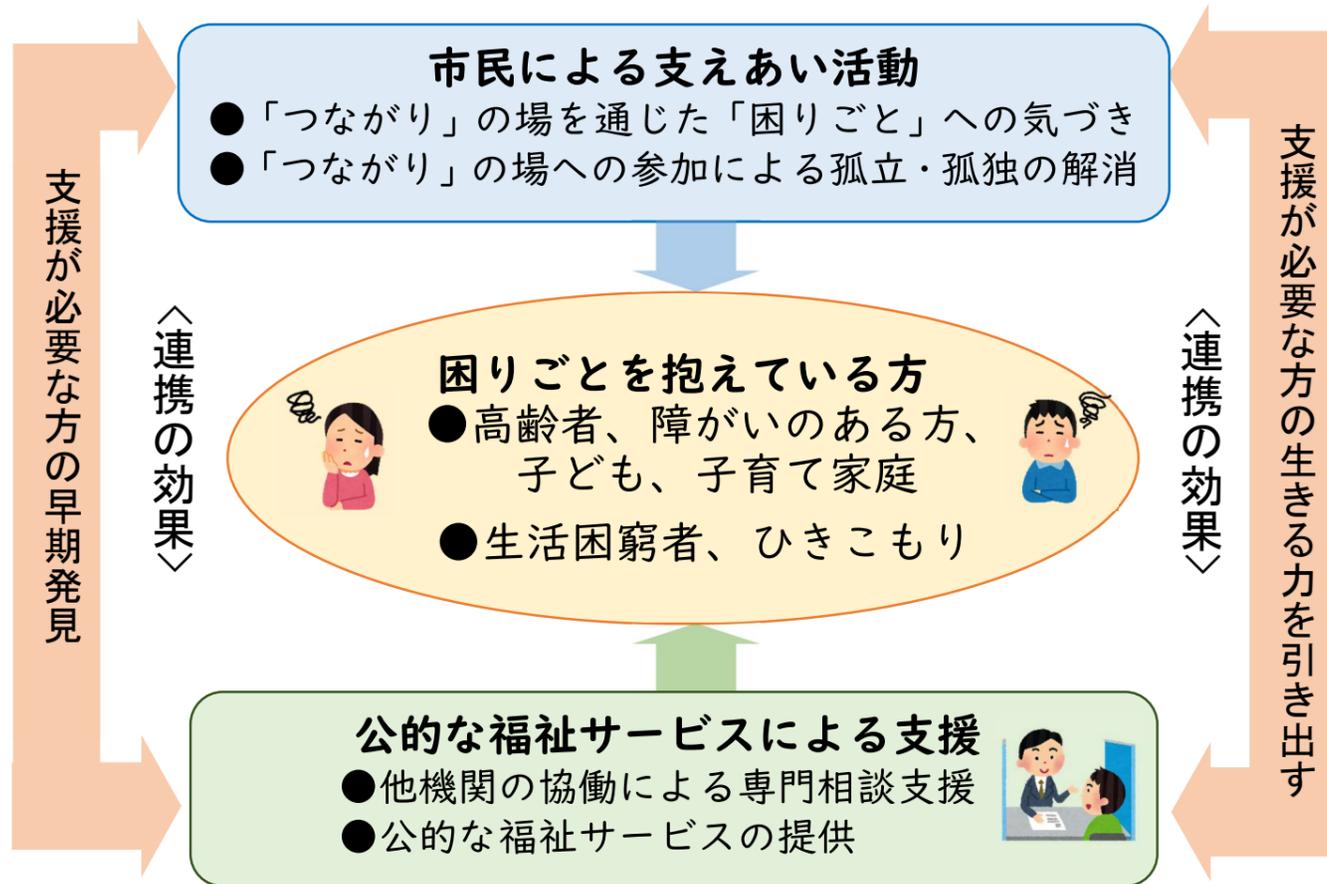


CSWの支援の視点

- 対象者の力を生かす
- 地域のニーズを把握する
- 地域での支援の力を高める
- つなげる(1+1=∞)
- ないものをつくる

※生活支援 Co(コーディネーター)は、高齢者の生活支援・介護予防の基盤整備を推進していくことを目的としています。

公的な福祉サービスと市民による支えあい活動の連携と役割分担



●「困りごと」への気づき

支援が必要な方の「困りごと」に周囲が気づき、「民生委員・児童委員、主任児童委員(以下、民生委員)」等を通じて「専門相談支援」に届けられ、早い段階での公的な福祉サービスの開始や世帯の状況変化にも対応できる仕組みを作ることが求められています。

●「つながり」の場づくり

地域の住民や多様な社会資源との関わりで取り組まれる「つながり」の場は、支援が必要な方の孤立・孤独感を解消し、本人が役割を持つことで生きる力が引き出され、公的な福祉サービスによる支援の効果を高めることにつながります。



ちょっとした「困りごと」の気づきが大事!



「つながり」の場におむすびします!



個別支援事例 ～ 自宅開放による独居高齢者の孤立感解消に向けた取り組み ～

★「困りごと」の気づき

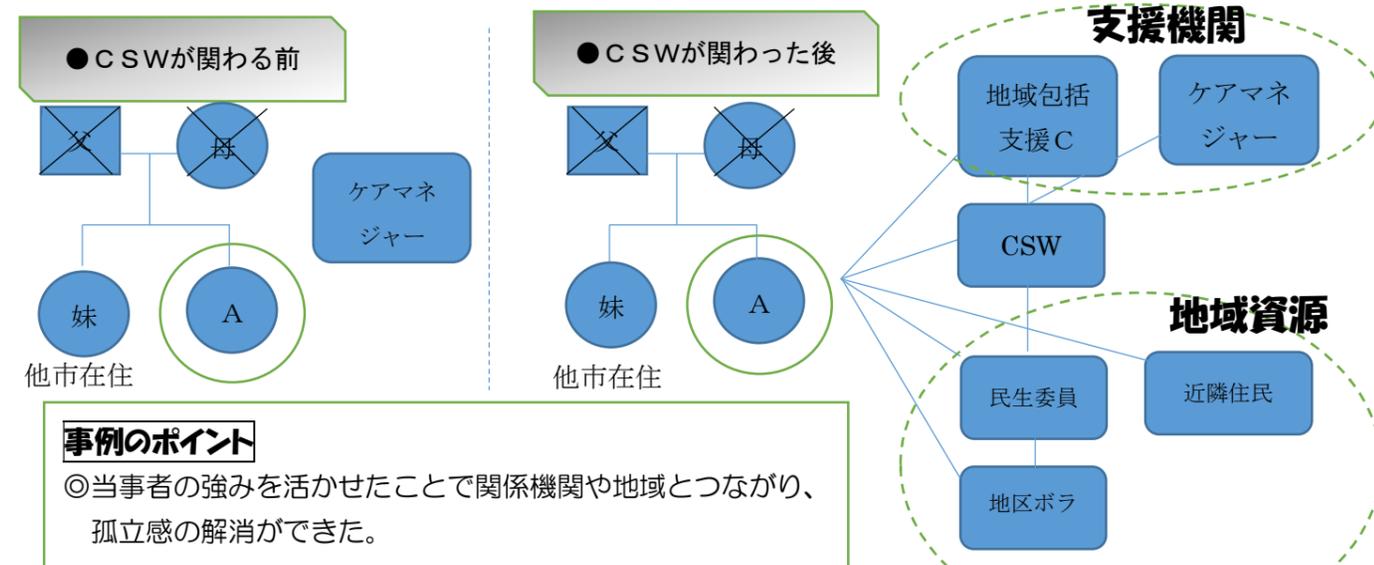
Aさん70代女性：他市在住の妹から市社協に姉のAさんのことで電話が入りました。Aさんは足腰が悪く要介護2と認定され、自宅に閉じこもりがち。さらに、自分の話ばかりして相手を疲れさせてしまい孤立感。人と接する機会を増やすため、姉(Aさん)の自宅を「集いの場」として開放し地域に役立てたいとのことでした。

★「困りごと」の共有

Aさんの意向を確認し、担当ケアマネジャーや関係者からAさんの状態像を確認しました。「集いの場」を開催する上での課題として、Aさんが主体となって「集いの場」を運営することは難しく、Aさんの特性を理解し主体となって協力できる人が近くにいないこともわかりました。これらの課題をもとにCSWは、地区内の関係機関と支援策を検討し、民生委員にも協力していただきました。

★地域での支えあい活動・成果

- 必要備品は地域包括支援センターや地区内の施設から借用しました。準備は地区のボランティアに依頼するなど、地域資源の力を駆使し、民生委員が主体となり体操と茶話会を合わせた「集いの場」を実施することができました。
- Aさんは、自宅を開放した「集いの場」ができたことにより、一緒に体操に取り組むことができる近隣住民とのつながりができました。また、定期的に話しを聞いてもらえるボランティアとのつながりもできました。



～まとめ～

民生委員の皆さんにご協力をお願いしたいことは…

- 「困りごと」への気づき (普段の声かけ、地域の変化を感じ取る)
 - 傾聴 (身近な相談相手として対象者の話を聴く)
 - 見守り (声かけや関係機関へのつなぎ)
- ※何か気にかかることがあればCSWへご相談ください。



CSWの役割は…

- 世帯丸ごと支援 (課題の整理)
- 関係機関とのネットワークづくり (課題解決に向けた役割分担)
- 地域で支える仕組みづくり⇒地域の皆さんと取り組みます!